

曲芸師ニック・ワレンダ、9つ目の世界記録へ挑む

“風の街” シカゴで、50階建て高層ビルを 命綱なし、安全ネットなしで綱渡り！

ディスカバリーチャンネル 220国・地域 世界同時生中継
11月3日(月祝)朝9時 日本独占生中継

世界最大級のドキュメンタリーチャンネル「ディスカバリーチャンネル」は、アメリカの曲芸師 ニック・ワレンダ（*Nikolas "Nik" Wallenda*）による、米・イリノイ州シカゴでの綱渡りを220の国と地域で、世界同時生中継します。日本では、『生中継！シカゴ高層ビル綱渡り』と題して、日本時間11月3日（月祝）朝9時から国内独占生中継します。



© 2014 Discovery Communications, LLC.

昨年、ディスカバリーチャンネルが主催し生中継した、グランドキャニオンでの綱渡りによる世界記録達成の様子

ディスカバリーチャンネルは、2013年6

月にニックによる米・グランドキャニオンでの綱渡りを生中継し、本人の8つ目の世界記録達成の瞬間を世界中にお届けしました。中継当日、Twitterのつぶやきが全世界で13億ツイート以上を記録し、SNSの71%をこのニュースが独占。その多角的なSNS施策や複数のアンクルからのライブ映像を配信した連動ウェブサイトなどが評価され、本中継は2014年8月に米国エミー賞において、マルチプラットフォーム・ストーリーテリング部門インタラクティブ・エミー賞を受賞しました。

今回の新たなる挑戦は、シカゴの50階建て以上の高層ビルとビルの間を命綱も安全ネットもなしで傾斜を付けて綱渡りをする、というニックにとって9つ目の世界記録に挑むものです。ワレンダ一家にとって最も高い高層ビルでの綱渡りとなるだけでなく、既に8つの世界記録保持者であるニックも挑戦したことのない、出発地点から到着地点までに最大15度の傾斜がついている非常に難易度の高い綱渡りとなります。

また、舞台として選ばれたシカゴは、「ウィンディー・シティー」（風の街）としても知られており、ニックが挑戦する地点は市内で最も強風が吹く場所のひとつで、ニックの挑戦をさらに難しいものとします。

このたびの挑戦は2つあり、1つ目は、シカゴ川に面したマリーナ・シティの西棟（65

階建 約 178m) から、向こう岸のレオ・バーネットビルディング (50 階建 約 193m) まで、最大 15 度の傾斜がついた綱の上を渡ります。2 つ目は、マリーナ・シティ西棟から東棟へ綱渡りをします。



© Carl Larson Photograph

ニックは、「空飛ぶワレンダー家」と呼ばれる、命綱や安全ネットを使用しないことでも知られる曲芸ファミリーの 7 代目で、世界的に有名な綱渡り師カール・ワレンダのひ孫にあたります。空中曲芸一家の一員として、幼少期からパフォーマンスをはじめ、13 歳で初の綱渡りを成功させました。その後もヘリコプターから歯でぶら下がったり、自転車で綱渡りするなど数々の驚異的なパフォーマンスを成し遂げてきました。そんなニックにとっても、今回の挑戦は今まで経験したことのないものであり、この挑戦が家族が跡を継ぎたいと思う後押しになればと願っています。それは 1978 年にプエルトリコの綱渡りで命を落とした曾祖父カール・ワレンダを追悼することにもつながります。妻と 3 人の子どもが見守るなか、父が指揮をとる技術部隊のもと、ニックは世紀のチャレンジに挑みます。

この世界記録への挑戦に際して、ニックは次のようにコメントしています。「この綱渡りは、私のキャリアにおいてもっとも驚きに満ちた挑戦であり、シカゴはその舞台に最適な街です。家族でパフォーマンスをした思い出がありますし、“風の街”と呼ばれているシカゴで、この季節に綱渡りをするということは私にとっても大きな挑戦です。人々が不可能だと思うことに挑戦することに喜びを感じています。」

「私は常に、さらなる大きなハードル求めていて、世界が今まで目にしたことのないことを成し遂げたいと考えています。歴史的記録達成の瞬間を家族に見てほしいし、彼等と一緒に成功を祈ってくれていると感じることで安心してパフォーマンスができるのです。」

今回も、ヘリコプターを含む複数のカメラでとらえた多様なアングルからの映像をライブでお届けします。

番組概要

チャンネル: ディスカバリーチャンネル

番組名: 生中継! シカゴ高層ビル綱渡り (原題: SKYSCRAPER LIVE WITH NIK WALLEND)

放送日時: 11 月 3 日 (月祝) 9:00~11:20 (140 分間予定)

(現地時間: 米国東部時間 11 月 2 日 (日) 19:00~21:20)

再放送: 同日 11 月 3 日 (月祝) 24:00~、11 月 8 日 (土) 18:00~ (120 分短縮版)

場所: アメリカ イリノイ州 シカゴ

制作: ディスカバリーチャンネル

視聴方法: CS 放送「ディスカバリーチャンネル」独占放送。ケーブルテレビ、スカパー!、IP 放送等で視聴可能。

本中継はスカパー! で無料放送します。(デジタルテレビのみ)

放送: 世界 220 の国・地域のディスカバリーチャンネルで世界同時生中継

番組内容: シカゴの高層ビルを綱渡りする世界記録への挑戦の生中継。一家の紹介映像、事後インタビュー等

番組紹介文: グランドキャニオンでの世界初の高所綱渡りを成功させたアメリカの曲芸師、ニック・ワレンダの新たな挑戦。今回の舞台は「風の街」と呼ばれるシカゴ。なんと夜間に二度、高層ビルから高層ビルへと綱渡りするのだ。命綱や安全ネットはない。まずはマリーナ・シティからレオ・バーネットビルディングへ、シカゴ川の上を歩行。高さは地上 50 階以上、最大 15 度の傾斜がある上りだ。ワレンダ家の歴史上、最も高所での高層ビル綱渡りであり、ニックにとってこれほどきつい傾斜は初めてだ。そして、マリーナ・シティの 2 つのタワーの間も渡る。不可能とも思える命がけの挑戦をお伝えする。

特設 HP: <http://japan.discovery.com/skywire/> ※10 月に追加情報更新予定

■写真ダウンロードサイト <https://discovery.box.com/s/r19hv72a45ssqc580tn5>

■今回の世界記録 ※予定

場所：アメリカ イリノイ州 シカゴ
 記録：50階建て以上の高層ビルとビルの間を、
 最大15度の傾斜をつけて綱渡りをする。
 命綱と安全ネット無し。



■ニック・ワレンダ プロフィール

本名：ニック・ワレンダ (Nikolas "Nik" Wallenda)

生年月日：1979年1月24日生まれ (39歳)

本人HP：<http://nikwallenda.com/>

8つの世界記録保持者。「空飛ぶワレンダ一家 (Flying Wallendas)」と呼ばれる綱渡りファミリーの7代目。世界的に名高い綱渡り芸人カール・ワレンダのひ孫。ワレンダ一家伝統の安全ネットなしでの綱渡りを受け継いでいる。

■ニック・ワレンダによる主なチャレンジ

2001年	<p>【世界記録①】 場所：米・フロリダ州 記録：8人ピラミッド綱渡り</p>
2008年	<p>【世界記録②】 場所：米・ニュージャージー州 記録：最も高い位置での自転車による綱渡り、また最も長い距離での綱渡り 詳細：高さ135ft (約41m)、距離235ft (約71.6m) ※「高さ」は、2010年に記録を約2倍に自己更新</p>
2010年	<p>【世界記録③】 場所：バハマ国 記録：最も高い位置での自転車による綱渡り 詳細：海面から高さ238ft (約72.5m)、距離100ft (約30m)。</p>
2011年	<p>【世界記録④】 場所：米・ニュージャージー州 記録：死の車輪 詳細：トロピカーナ・カジノ・アンド・リゾートの建物23階において</p> <p>【世界記録⑤】 場所：プエルトリコ サンファン市 記録：母と息子による綱渡り。 詳細：10階建ての2棟のタワーの間100ft (約30m)、高さ121ft (約37m)。 1978年に曾祖父カール・ワレンダが死亡した地での挑戦に成功。</p> <p>【世界記録⑥】 場所：米・ミズーリ州 記録：ヘリコプターから歯でぶら下がる 詳細：250ft (約76m)の高さのヘリコプターから、腕、脚、最後に歯でぶらさがった。</p>
2012年	<p>【世界記録⑦】 場所：ナイアガラの滝 (米国側からカナダ側へ) 記録：ナイアガラの滝での綱渡り 詳細：水面から高さ200ft (約60m)、距離1,800ft (約550m)。滝つぼの真上での成功は史上初。</p>
2013年	<p>【世界記録⑧】 場所：米・グランドキャニオン 記録：グランドキャニオンで命綱なしで綱渡り 詳細：リトルコロラド川上空、高さ1,500ft (約457m)の高さから、距離1,400ft (約426m)。</p>

ディスカバリーチャンネルとは (www.japan.discovery.com)

ディスカバリーチャンネルは、220以上の国・地域で放送されている世界最大級のドキュメンタリーチャンネルです。身の回りの現象から宇宙のしくみまで、あらゆることを科学的に解明し、新しい発見をお届けします。宇宙、車、科学、テクノロジーなど、さまざまなジャンルの番組であなたの知的好奇心を刺激します。日本では1997年より放送を開始し、現在は全国のケーブルテレビ局、スカパー！、IPTV放送などで視聴いただけます。

ディスカバリーチャンネルに関するお問い合わせ先

【報道関係者】ディスカバリー・ジャパン株式会社 PR 加藤 TEL: 03-5218-2742 e-mail: JP_AnimalPress@discovery.com

【一般視聴者】ディスカバリーチャンネル www.japan.discovery.com/
 フリーコール 0120-777362 (10:00~18:00 年中無休)